

11月21日 国会行動に参加して

若狭ネット福井 山崎

「維持基準」の導入などに反対する11・21国会行動に参加しました。ダム問題でもたびたび訪れている衆議院会館に着き、控え室に入ると島根の芦原さんや静岡の長野さん、福島の石丸さん、大阪の久保さん、前田さん、京都の山田さん、奈良の中西さん、福井の石地さんたちが勢ぞろい。

保安院の課長補佐とのしばしのやりとりのあと、私たち原発立地県の住民は北川れん子さんの案内で内閣府へと移動。

内閣府の今村氏に電気事業法改正案の第3条の削除と独立法人法案の廃案を求める申し入れをし、それぞれ地元の世論や反対意見などを力をこめて語りました。

奇しくも、あらたな自然破壊の推進となる恐れのある「自然再生推進法案」が19日に国会で可決されてしまいました。日本の官僚や政治家たちの狡猾さにハラワタが煮えくり返る思いです。まさに火事場泥棒的な「維持基準」の導入は、「自然破壊推進法案」とまったく同じペテン劇です。

しかし、たとえ国会で法案が成立したとし

ても、この「維持基準」のインチキ性を、県民に広く伝えていかなければなりません。

核燃料サイクル開発機構敦賀本部が、高速増殖炉開発研究費を流用して敦賀市議や福井県議・マスコミなどを飲酒接待していた恥知らずな事実とともに、県民に広く知らせてゆきたいと思います。26日発売のプレイボーイ誌に、核燃サイクル機構が議員やマスコミを飲酒接待していた件についての続報が掲載されています。市民オンブズマン福井と敦賀市民の会が、来週中にこの件で敦賀市議・県議・核燃あての公開質問状を届けます。私も同行します。飲酒接待の一覧表は、私のHPをご覧ください。

[www3.ttn.ne.jp / oiz3630 /](http://www3.ttn.ne.jp/oiz3630/)

2回の中央行動に 全国各地から賛同をいただきありがとうございました。

現在も続々とカンパが届いてきます。約40万円集まりました。

全国各地からの行動参加者の方々の交通費の半額をまかなえました。

編集後記

電力会社も国も不正があろうが、不正を知っててもごまかし生き続けている体質に、日本社会の病状は更に悪化してきたのだという事実を知らされ、暗澹なる思いです。原発がある限り未来の展望などありません。放射能まみれの社会なんてまっぴらです。

きよ子